

救護施設 親愛の家



所在地：北海道歌志内市字文珠165番地4
 建築面積：3,858.69㎡
 延床面積：3,816.69㎡
 構造・規模：大断面木構造、平屋建
 施主：社会福祉法人 北海道光生舎
 計：プロジェクト・木構造建築（ベルックス・泉川設計事務所）
 施工：建築／西出興業・泰進建設・中山組特定建設共同企業体
 電気／末廣屋電機(株)
 オープン：平成24年3月

S159

北海道のほぼ中央に位置し、美しい山々や自然に恵まれた歌志内市。
 新築移転した救護施設「親愛の家」は、周囲の景観と調和した木造平屋建てで、
 照明には、環境負荷の少ないLEDを主に採用して省エネ・CO₂排出量を大幅に削減しています。

美しい景観と調和した木造建築の救護施設に省エネ性能に優れた照明を採用

救護施設とは、身体や精神に障害があり、経済的な問題も含めて日常生活を送るのが困難な人たちが健康に安心して生活するための保護施設で、必要なサービスを提供できる総合的な福祉施設としての機能を持っています。

北海道の歌志内市にオープンした救護施設「親愛の家」は、自然豊かな周囲の景観に調和した木造建築とし、食堂、集会・訓練室、事務室などからなる管理棟を中央にして、居室の自立棟と介護棟などで構成しています。

LED照明を中心に採用し、木造建築と調和した温もりのある光環境を実現

照明は、ほとんどをLED照明器具とすることで、消費電力の抑制を図るとともに、木造建築に調和した温もりのある光空間が得られるように、電球色主体の光色を用いています。

楕円形のハイサイドライト（最高高さ約8m）をもつ広い食堂の照明は、平天井部に拡散光で消費電力70WのLEDベースライトスクエアタイプと、広角タイプで消費電力20WのLEDダウンライト電球色を採用。節電しながらテーブル上の料理を明るく浮かび上がらせ、料理が美味しく見える光環境とし、ハイサイドライト部には電球形スポットライトを設置して夜の照明および補光として点灯可能にしています。食堂に隣接して配置された集会室・訓練室は、多用途に用いられるため、初期照度補正機能付直管形LEDベースライト埋込形を連結設置して採用。間仕切り時でもそれぞれの用途に無駄なくふさわしい照明効果が得られるように、適宜に点滅回路分けを行っています。

玄関ホールに面してカウンター上部を大きく開口した、開放感豊かな事務室の照明は、圧迫感のない薄形LEDベースライトを整列配置にして採用。器具の側面からも天井面を明るくし、作業面はもちろん利用者からも職員の顔が見やすく、互いに会話がはずむ雰囲気をつくり出しています。

居室は、全般照明に家庭的な雰囲気が得られるように丸形のLEDシーリングライト電球色を採用。共用廊下は、LEDダウンライトにより必要照度を確保しながら、規則的な光と影が壁に生じる配光で、誘導効果を高めています。



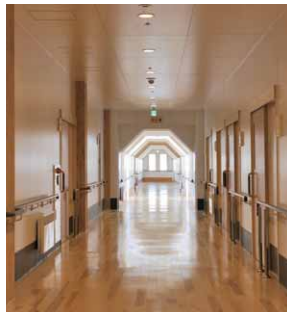
食堂の照明 平天井部にはLEDベースライトとLEDダウンライトを、ハイサイドライト内には電球形スポットライトを採用



LEDベースライトの連結設置による集会室・訓練室の照明



事務室にはLED薄形ベースライトを整列配置



LEDダウンライトによる共用廊下の照明



LEDシーリングライトを採用した居室



介護室はLEDバックライトとLEDダウンライトを採用

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	一体形LEDベースライト埋込形	LEDR-95406L-LDJ	16	LED 消費電力:108W
	直管形LEDベースライト埋込形	LEDR-42478K-LDJ	82	LED 消費電力:57W
	薄形LEDベースライト直付形	LEDT-48101W-LDJ	17	LED 消費電力:56W
		LEDT-63101W-LDJ	20	LED 消費電力:72W
	LEDダウンライト	LEDD-15001ML-LS9	192	LED 消費電力:21W
	LED電球付属ダウンライト	LEDC-24001(S)	107	LED 消費電力:9.4W
	LED小形シーリングライト	LEDG85001	22	LED 消費電力:6.0W
	LED丸形シーリングライト	LEDH82103-LC	71	LED 消費電力:78W
	LEDバックライト	LEDX-91401K	10	LED 消費電力:118W